

大学院体験一日講座
(講座番号 48)



講師 佐々木 守俊
清泉女子大学大学院
思想文化専攻教授

日本の版画といえば江戸時代の浮世絵がまっさきに思い出されます。しかし、仏教の諸尊をあらわした版画が平安時代以降さかんに制作されたこと、それらの版画がしばしば仏像の内部空間に納入されて人とほとけの縁を結ぶ役割を果たしていたことはもっと注目されてよいのではないのでしょうか。信仰の根底には仏像に奇蹟を願う祈りと、政治・文化大国である中国(宋)へのあこがれが横たわっていたようです。この講座ではかわいらしく、かつ洗練された仏教版画の名品とそれらを納入品とする仏像を眺めながら、最新の研究成果も交え、人々が版画に期待したものをあきらかにしてゆきます。

毘沙門天像 (東京国立博物館蔵) / 出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

人とほとけの縁

仏像の内部に納入された版画

の縁

を結ぶ仏教版画の世界



【日時】 6月11日(土) 13:30~15:00 【場所】 清泉女子大学 (五反田駅から徒歩10分)

【受講料】 一般: 1,500円 / アカデミア会員・泉会・麗泉会・発展協力会: 1,000円

包括協定締結校在学生: 500円 / 本学在学生: 無料 (発展協力会の支援による)

【申込方法】 下記いずれかの方法でお申込みください。(QRコード: WEB申込フォームにアクセスします)

- ① Web: 清泉女子大学公式 Web サイト「生涯学習講座」より「WEB申込フォーム」をご利用ください。
- ② 電話: 03-3447-5551 (代) 平日 9:00~17:00
「清泉ラファエラ・アカデミア一日講座申込」とお申し出ください。
- ③ 一日講座専用申込書 (窓口提出または FAX: 03-5421-3212)

【備考】 オンライン(zoom)視聴あり (ご希望の方は必ず Web からお申込みください。後日配信なし。)

【問合せ先】 清泉女子大学 生涯学習センター 清泉ラファエラ・アカデミア一日講座係

